

1 オオキンケイギク

[キク科]

Coreopsis lanceolata L.

北米原産で、明治時代に観賞用に持ち込まれ、その後、緑化植物として利用されたものが野生化し、全国に広がりました。草丈は30～70cmで、オレンジ色の花が5～7月に咲き、夏～秋にかけて結実し大量の種子を生産します。草原や河川敷などで在来植物の生育場所を奪い、景観を一変させてしまいます。

[県内生育環境] 道路沿い・河川堤防・人家の庭・墓地・植込みなど
[県内分布市町村] 全市町村



2 ナルトサワギク

[キク科]

Senecio madagascariensis Poir.

東アフリカ原産で、1976年に徳島県鳴門市で初確認され、海辺の埋め立て地の緑化に使われた緑化資材の種子に混入したと考えられています。草丈は約30～70cmになる多年草です。温暖な環境ではほぼ周年開花がみられ、1年を通じて黄色の花をつけ、種子を通年生産して、高い繁殖力をもちます。

[県内生育環境] 海岸近くの砂地や道路沿い
[県内分布市町村] 安芸市・芸西村・須崎市・黒潮町・四万十市



3 オオハンゴンソウ

[キク科]

Rudbeckia laciniata L.

北米原産で、明治中頃に観賞用に導入されました。中部地方以北の寒冷な地域では広範囲に分布し、肥沃で湿った土地に生育します。草丈は1～3mになる多年草で、7～10月頃に花が咲きます。横走する地下茎から茎を叢生して群生し、ときに大群落をつくります。園芸品種のハナガサギクが栽培されることがありますが、本種として扱われるため規制対象です。

[県内生育環境] 湿地
[県内分布市町村] 津野町（ハナガサギク：香美市・南国市）



4 ミズヒマワリ

[キク科]

Gymnocoronis spilanthoides (D.Don ex Hook. et Arn.) DC.

中南米原産で、戦後、熱帯魚の輸入に伴って国内に入ってきたと考えられ、1995年に愛知県で野生化が確認されました。多年生の抽水植物で、高さは約0.5～1.6m、8～10月に白い花が咲きます。栄養繁殖が極めて旺盛で、ちぎれた茎の節から根を出して短期間で生長します。河川では、植物体の一部や種子が流水や土砂の移動にともなって移動することにより、分布を拡大していきます。

[県内生育環境] 河川・公園の水辺
[県内分布市町村] 香南市・高知市



高知県に生育する 特定外来生物 | 植物 |

高知県には、外来生物法で指定されている
特定外来生物（植物）16種類のうち、9種類が確認されています。

6 アレチウリ

[ウリ科]

Sicyos angulatus L.

北米原産で、輸入大豆に種子が混入したとされ、全国の河川敷や飼料畑に多くみられます。つる性の1年草で、8～10月に白い花が咲き、果実に鋭い刺をもちます。種子には休眠性があり、土壌シードバンクをつくります。

[県内生育環境] 河川敷・休耕畑
[県内分布市町村] 大豊町・高知市・土佐市・いの町・須崎市・中土佐町・四万十町



Column

増える外来植物

植物の住民台帳ともいえる『高知県植物誌2009』に記録された外来植物は452種類でした。2016年7月から実施した網羅的な外来植物調査結果をまとめた『高知県の外来植物2019』には、なんと727種類の外来植物が記録されています。一時的な逸出の可能性のある外来植物

も調査対象としたことから、多くの外来植物が確認されたこともありますが、種数が増えていることは間違いありません。近年になって確認され、急速に分布が拡大している種類では、キク科メリケントキンソウやイネ科ヨシススキ、キツネノマゴ科ヤナギバルイラソウなどが挙げられます。



メリケントキンソウ



ヨシススキ



ヤナギバルイラソウ

8 ボタンウキクサ

[サトイモ科]

Pistia stratiotes L.

アフリカ原産で、観賞用として輸入され、西日本を中心に各地で野生化して繁殖しています。多年草の浮葉植物で、広卵形～扇形のピロード状の葉を水面に浮かべ、水中に根を伸ばして浮遊します。葉の間から走出枝を伸ばし、子株・孫株をつくって繁殖します。

[県内生育環境] 河川
[県内分布市町村] 南国市



7 オオフサモ

[アリノトウグサ科]

Myriophyllum aquaticum (Vell.) Veldc.

南米原産で、1920年頃に兵庫県須磨寺の池で野生化したとされています。ため池・河川・水路などに生育する多年生の抽水植物です。栄養繁殖が旺盛で、地下茎で繁殖し、匍匐しながら分枝を繰り返して広がり、植物体の断片からも根を出して再生します。

[県内生育環境] 用水路・河川
[県内分布市町村] 田野町・夜須町・香南市・南国市・高知市・土佐市・日高村・いの町・佐川町・須崎市・黒潮町・四万十町・四万十市・三原村・宿毛市



9 アゾラ・クリスタータ

[サンショウモ科]

Azolla cristata Kaulf.

浮遊性のシダ植物で、アイガモ農法により広がったとされます。日当たりのよい、水田、溝、水路などに生育し、在来種のアカウキクサやオオアカウキクサとの競合や駆逐の影響が危惧されています。

[県内生育環境] 人家で栽培・用水路
[県内分布市町村] 香南市・南国市・高知市

